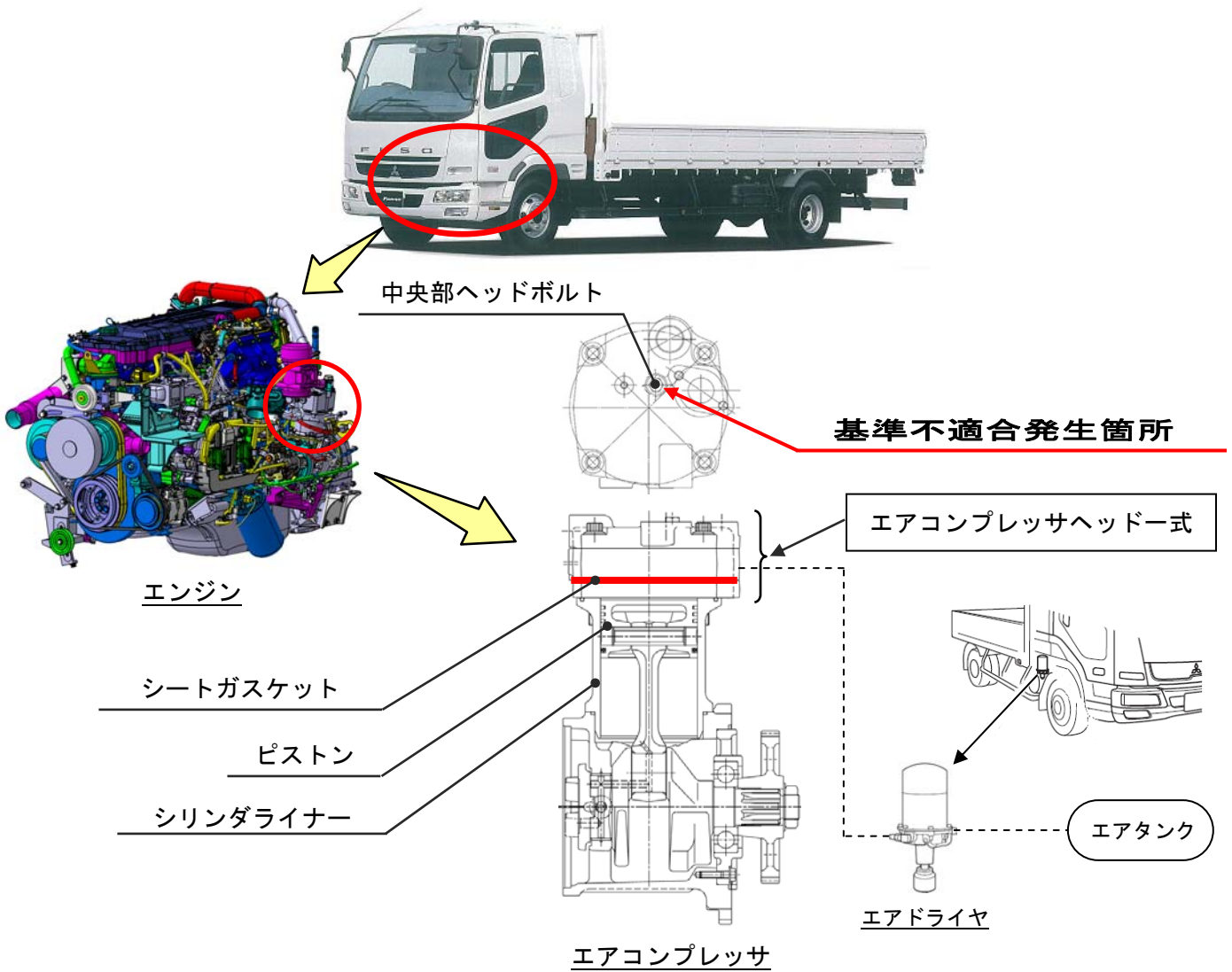


# 改善箇所説明図



中型トラックと大・中型バスにおいて、エアコンプレッサの中央部ヘッドボルトの締付トルクが不足しているため、ピストンの往復運動による圧力振動でシートガスケット（エアコンプレッサ内の冷却水通路とエア通路の気密性を保つもの）に亀裂が発生するものがある。そのため、冷却水がエア通路に浸入し、

- ① エア圧送時に配管を伝わり、エアドライヤ（圧縮空気中の水分や油分を取り除くもの）から排出され、冷却水が減少することで警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、エンジンの出力が制限される。
- ② エア圧縮時の熱により冷却水が乾燥し、結晶化して生成された固形物が吸排気バルブに付着することで、吸入または圧送されるエアが減少するため、エア圧が低下することで警報ブザーが鳴るとともに警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、十分なエア圧が確保できなくなりブレーキ機能に影響を及ぼし、路上故障に至るおそれがある。

## 改善措置の内容

全車両、エアコンプレッサヘッド一式を対策品と交換するとともに以下の改善措置を実施する。

- ・当該ヘッドのエア通路に冷却水の浸入が認められたものは、エアコンプレッサのピストンとシリンダライナーを新品に交換し、エアドライヤのオーバーホールを実施する。
- ・エア系統を点検し、冷却水の混入が認められたものはエア系統を清掃し、不具合が生じた部品を新品に交換する。

注：□は、交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、所定の位置に「MT68」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

トラック：助手席リヤドアピラーストライカー付近

バス：車両左後方点検リッド裏